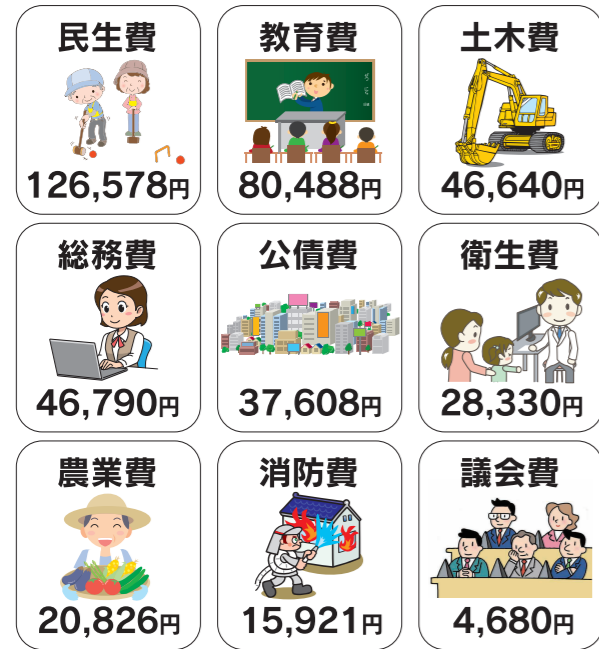
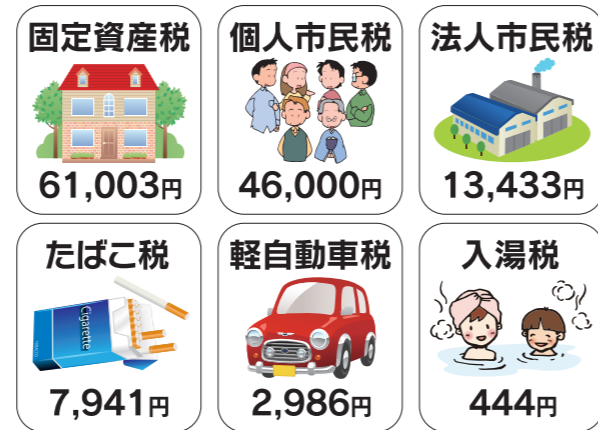


市民1人あたりに使われたお金  
411,639円(その他 3,778円含む)



市民1人あたりの市税  
131,807円



※「市民1人あたり」は、平成30年3月31日現在の人口を  
もとに算出（住民基本台帳人口44,169人）  
※入湯税は、ピアスパークしもつまおよび道の駅しもつま  
維持管理基金と観光事業に使われています

## 平成29年度決算 財政健全化指標等の公表

財政の健全性を判断するための4つの「健全化判断比率」と公営企業会計の「資金不足比率」を公表します。将来負担比率は前年度より上昇していますが、いずれの比率も国が定めた基準を下回る結果となりました。今後も行財政改革などに取り組み、引き続き健全な財政運営を進めていきます。

### ①実質赤字比率 = 黒字

福祉・土木・教育などを行う一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を表す比率で、算定の結果、黒字となり「-」と表示しています。

### ②連結実質赤字比率 = 黒字

特別会計や企業会計を含む全ての会計の赤字や黒字を合算して市全体としての赤字の程度を指標化し、市の財政運営の深刻度を表す比率で、算定の結果、黒字となり「-」と表示しています。

### ③実質公債費比率 = 7.7%

市の借入金の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を表す指標で、前年度を0.6ポイント下回りました。これは、市の借入金返済額は増えましたが、この返済に対する普通交付税の算入額も増加したことなどによるものです。

### ④将来負担比率 = 84.7%

市の借入金や将来支払わなければならない負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性を示す指標で、前年度から13.0ポイント上昇しています。下妻中学校改築事業等に伴う借入金により市債残高が増加したことなどが要因です。

### 健全化判断比率

指標	平成29年度	平成28年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	-	-	13.30	20.00
②連結実質赤字比率	-	-	18.30	30.00
③実質公債費比率	7.7	8.3	25.0	35.0
④将来負担比率	84.7	71.7	350.0	

※「実質赤字比率」「連結赤字比率」については、赤字額がないため「-」と表示しています

早期健全化基準…健全化判断比率のいずれかが「早期健全化基準」の数値を上回ると、財政健全化計画を策定し自主的な改善努力による財政健全化に取り組むこととなります。

財政再生基準…健全化判断比率(将来負担比率を除く)のいずれかが「財政再生基準」の数値を上回ると、財政再生計画を策定し国などの関与による確実な再生に取り組むこととなります。

### 資金不足比率

会計名	平成29年度	平成28年度	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.0
下水道事業特別会計	-	-	20.0

※各公営企業においては、資金不足が生じていないため「-」と表示しています

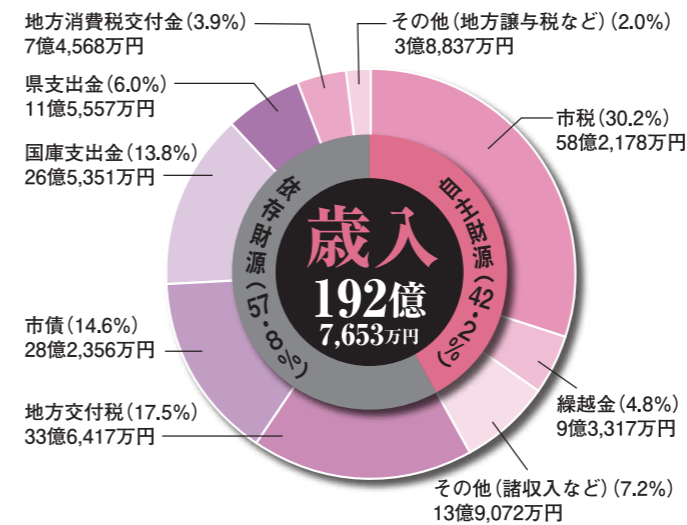
資金不足比率…公営企業ごとの資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるかを表しています。

⇒いずれの公営企業会計も資金不足が生じていないため、算定されません。

経営健全化基準…経営健全化基準を上回った公営企業は、経営健全化計画を策定し財政健全化に取り組むこととなります。

### 一般会計決算状況

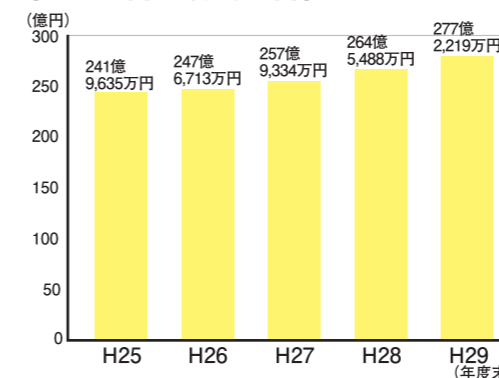
一般会計	決算額
歳入総額①	192億7,653万円
歳出総額②	181億8,170万円
歳入歳出差引額①-②=③	10億9,483万円
翌年度へ繰越すべき財源④	3,579万円
実質収支額③-④	10億5,904万円



### 財政状況の推移

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収支比率	87.7%	92.0%	89.8%
財政力指数	0.656	0.665	0.673
基金の年度末残高	42億 8,834万円	44億 3,570万円	46億 3,799万円

### 市債残高の推移 (一般会計+特別会計)

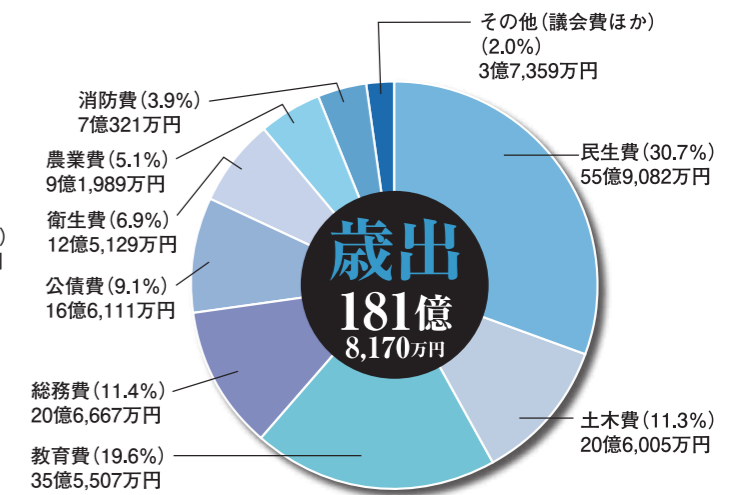


### 29年度給水状況

給水世帯	15,085世帯
給水人口	40,172人
年間給水量	3,590,713m <sup>3</sup>
1日平均給水量	9,838m <sup>3</sup>

平成29年度の決算が9月の第3回市議会定例会で認定されました。一般会計の歳入総額は、192億7,653万円(前年度比3.2%増)で、歳出総額は181億8,170万円(前年度比2.4%増)となりました。皆さまから納められた税金や国・県からの交付金・補助金などがこのように使われたのかをお知らせします。

# 平成29年度 決算報告



### 特別会計決算状況

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
国民健康保険	64億3,291万円	58億1,381万円	6億1,910万円
後期高齢者医療	3億9,094万円	3億8,646万円	448万円
介護保険	34億 65万円	33億2,609万円	7,456万円
介護サービス事業	1,094万円	528万円	566万円
下水道事業	10億3,389万円	10億 857万円	2,532万円
砂沼サンビーチ	1億5,505万円	1億5,187万円	318万円

### 水道事業会計決算状況

区分	決算額	
収益的収支	収入	9億9,913万円
	支出	9億6,396万円
資本的収支	収入	1億2,525万円
	支出	4億3,474万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3億949万円は、損益勘定留保資金・消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てんしました